

議会報告会実施結果報告書

令和6年3月

神奈川県議会
産業振興・環境対策特別委員会

議会報告会実施結果報告書

I 開催の趣旨

広聴広報機能の充実を図り、「常に県民とともに歩む県議会」として、議会の活動を身近な地域で県民に伝え、県民の声を直接伺うことを目的に、神奈川県議会基本条例第13条の規定による報告会として開催した。

座間市の農業、耕種農業と畜産農業がバランスよく行われており、その産出額は、神奈川県でも上位を占め、地域振興に大きな役割を果たしている。

また、座間市には、古くから日産自動車の車両工場があり（現在、車両生産は行っていない）、現在では新型車の量産試作及び車体組立設備、樹脂成型金型の製作などの開発事業を行っている。それは21世紀に必要とされる先端技術と高品質を駆使しており、世界トップレベルの工場である。

今回のテーマである「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」において、ふさわしい地域である座間市において議会報告会を開催することとした。

II 概要

1 開催に至る経緯

令和5年6月8日	団長会で、議会報告会の開催を希望する特別委員会委員長は、議長まで申し出るよう依頼
7月3日	議会報告会の開催を希望することを、産業振興・環境対策特別委員会で決定
7月11日	<ul style="list-style-type: none">・団長会で、議会報告会を産業振興・環境対策特別委員会で開催することを決定・産業振興・環境対策特別委員会で、議会報告会実施計画（別添1参照）を決定・産業振興・環境対策特別委員会委員長から、議会報告会実施計画を議長、副議長に報告

2 議会報告会の状況

(1) 開催日時

令和5年11月16日（木曜日） 14時から17時

(2) 開催場所

座間市立市民文化会館（ハーモニーホール座間）（座間市緑ヶ丘1-1-2）



(3) 参加者

68名

(4) 進行等

時間	進 行	備 考
13:00	受付開始	
14:00	議会報告会 開始 議長あいさつ 委員長あいさつ 座間市長あいさつ 座間市議会議長あいさつ	
14:10	産業振興・環境対策特別委員会 開会	
15:55	産業振興・環境対策特別委員会 閉会	
16:05	意見交換会 開始	<ul style="list-style-type: none">・日産自動車株式会社渉外部による講演 (テーマ：カーボンニュートラル実現に向けた日産の取組及び神奈川県内の産業振興への期待)・参加者との意見交換
17:00	意見交換会 終了 副議長あいさつ 議会報告会 終了	

※ 当日の議会報告会は、YouTubeによる動画配信を実施し、現在は、録画映像を配信している。

(URL <https://www.youtube.com/channel/UCGNHIq4vZyrRrrPs4Y46gzg>)

(5) 出席者

県議会

加藤 元 弥 議長

亀井 たかつぐ 副議長

産業振興・環境対策特別委員会 委員

芥川 薫 委員長 須田 こうへい 副委員長

小林 武 史 委員 永田 てるじ 委員 田村 ゆうすけ 委員

あらい 絹 世 委員 内田 みほこ 委員 いそもと桂太郎 委員

米村 和彦 委員 永井 真人 委員 すとう 天信 委員

おだ 幸子 委員 松川 正二郎 委員

県執行機関（特別委員会のみ出席）

(環境農政局)

農水産部長、農政課長、農業振興課長、農地課長、畜産課長、水産課長、
水産振興担当課長、森林再生課長

(産業労働局)

産業部長、産業振興課長、企業誘致・国際ビジネス課長、ベンチャー支援担当課長

(6) テーマ

「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」

3 議会報告会の広報等

(1) 実施前の広報等

令和5年8月22日	議会かながわ第179号に議会報告会の開催を掲載
9月25日	議会報告会について、YouTubeによる動画配信をすることを、開かれた議会づくりのための広報委員会において協議、団長会において決定
10月4日	議会報告会の開催を記者発表（別添2-1参照）
10月16日	・議会報告会への参加申込み開始を記者発表（別添2-2参照）、 申込みチラシを配布（別添2-3参照） ・県議会ホームページで議会報告会の参加者募集を広報 ・県議会Facebookで議会報告会の参加者募集を広報
11月13日	議会報告会の当日のスケジュールを記者発表、議会ホームページに掲載（別添3参照） （意見交換会の内容） ・日産自動車株式会社渉外部による講演 ・参加者との意見交換

(2) 実施後の広報

令和5年11月20日	県議会ホームページに議会報告会の開催報告を掲載
令和6年2月1日	議会かながわ第181号に議会報告会の開催報告を掲載
3月	県議会ホームページに議会報告会実施結果報告書を掲載 (予定)

Ⅲ 議会報告会（当日）

1 開会あいさつ

加藤 元弥 神奈川県議会議長

芥川 薫 産業振興・環境対策特別委員会委員長



2 来賓者あいさつ（座間市）

佐藤 弥斗 座間市長

荻原 健司 座間市議会議長



3 産業振興・環境対策特別委員会

主な質疑

(1) 自民党

- ・ 燃油・肥料・飼料価格高騰による農林畜産漁業者への影響と支援について
- ・ 農業活性化の取組について
- ・ 水産業活性化の取組について
- ・ 林業活性化の取組について
- ・ 成長産業の創出・育成について

(2) 立憲民主党・かながわクラブ

- ・ 水田や畑のほ場整備事業の推進について

(3) かながわ未来

- ・ 「さがみロボット産業特区」の取組について

(4) 立憲民主党

- ・ ベンチャー支援の取組について（スタートアップ・ビザ）

(5) 公明党

- ・ ベンチャー限定クラウドファンディング（かなエール）について

(6) 日本維新の会

- ・ 農林畜水産業の活性化の取組について

特別委員会の様子（委員席）



4 意見交換会

(1) 講演

テーマ：カーボンニュートラル実現に向けた日産の取組及び神奈川県内の産業振興への期待

講演：大屋俊一郎日産自動車渉外部課長

〔講演の様子〕



〔講演内容（概要）〕

- 日産自動車は、自動車産業が直面する地球温暖化、高齢化、都市化という3つ課題に対して、技術的アプローチで課題解決を図る日産インテリジェントモビリティによって、技術開発に取り組んでいる。
- なかでも地球温暖化に対しては、カーボンニュートラル社会を実現するために長期ビジョンを設定している。
- また、防災や環境エネルギーマネジメント、交通課題などの地域課題について、EVを活用して解決する取組として「ブルースイッチ」を展開し、神奈川県とも「電気自動車を活用した脱炭素社会実現及び災害対策強化に関する連携協定」を締結している。
- さらに、日本政府が主導するGXリーグというカーボンニュートラル実現に向けた取組へ参加し、産官学連携を図りながら気候変動対策に取り組んでいる。
- 神奈川県に対して、電動車への支援拡充、教育・研究機関による人材育成支援、県内サプライヤー・ベンチャーへの支援継続という3つを期待している。

(2) 参加者との意見交換

〔参加者との意見交換会の様子〕



〔意見交換の内容〕

● 参加者A

- 今、野菜がとても高くなっている。報道によると今年の夏のとても暑かった猛暑が原因とのこと。また専門家によると、今年の猛暑は序の口で、来年、再来年とますます暑くなっていくということ。

地球温暖化、気候変動が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしている。そして農業のことになるが、この深刻化する地球温暖化を緩和することについて、農業分野がとても大きな役割を果たすと思ってる。二酸化炭素の削減と、それから農業振興も今回のテーマということなので、こちらも議論ができると思う。

今、年間35兆円ぐらいの化石燃料を海外から買っているということで、神奈川県もその10分の1と考えると3兆円以上が化石燃料を買う費用として、出ていると思う。こちらを神奈川県内で、再生可能エネルギーを作ってそれを使うことにすると、何兆円も、県内で回ることになるので良いと思う。

農業分野においては、使用するエネルギーの再エネ化と、それから農業機械のEV化も重要と考えている。ヨーロッパでは、農業機械もEV化が進んでいる。環境省が出してる再生可能エネルギー導入ポテンシャルによると、神奈川県では、消費量の8割ぐらいを県内で賄えるとのこと。その1割以上が営農型太陽光で、畑の上に付けるソーラーシェアリングで賄えるため、それをとても推進して欲しいと思っている。ご意見を伺う。

県が事業として、ソーラーを、農家さんのところの畑にソーラーを付ければ、余った分は県が売って、県が儲けることにし、営農型太陽光をつけた、お礼に農家さんが電気を使えることにすると、Win-Winになると思う。

◆ 内田みほこ委員

- 農業の分野にもソーラーシェアリングを推進して欲しいというご意見、そしてご

要望だと思う。

私は以前産業振興関係の常任委員会にもおり、その当時初めて黒岩知事が太陽光発電、ソーラーパネルなども力を入れ始めた。それがコロナの前から始まって、今だんだんとパネル設置が進んできている。しかし、農業分野での設置はまだまだで、ソーラーシェアリングというお話があった。横浜市でも、薄膜太陽光を開発する会社も出てきており、今後、増えていくと考える。

農業のハウスに貼れるようなものとか、いろんな角度から、これからの10年で状況が変わっていくと思う。まだ、黎明期のため、今後、期待をしていただいて、あらゆる場面で、そのことをおっしゃっていただくと、事が早く進むと思う。

● 参加者B

- 農業に関する理解についてのPRが非常に不足していると痛切に感じている。

知っての通り、人間は食料が必要です。その食料を生産する現場が危機的状況にある。知っていても知らぬふりをしているような状況にある。高齢化、担い手不足、それを解決するために、新規就農者に救いの手を差し伸べているが、親元就農で農家の息子がなぜ農業をやらないのかということについては、親が、農業では生活できないということを感じてるから、息子を入れたがらない。それなのに、なぜ新規就農者に救いの手を差し伸べるか。

土地を借りて、機械をそろえるというリスクハードルはすごく高い。それで、新規就農者には支援をするが、親元就農に対しては、救いの手が非常に少ない。もう少しそれを温かい目で見てもらいたいと思う。

今、野菜が高い。けども、20年前から、野菜の値段はほとんど変わらない。けれども、生産資材、肥料等は高騰している。我々が就農を維持していくのは非常に難しい状況にある。

それからもう1つ、農業の直接支払制度というものがある。これは日本では、中山間地においてだけである。

我々、神奈川県では直接支払制度はない。ヨーロッパでも、直接支払制度は一般的になっている。日本型の直接支払制度をぜひ取り入れて欲しいと思う。

先ほど酪農が、廃業に追い込まれている事例があったが、食料自給率は38%という話がある。スーパーに行けば、地元の野菜、日本の野菜はあふれているが、食料自給率は約40%である。

あるいは、外食産業も、輸入である。あるいは食品メーカーのお菓子も輸入である。その上での食料自給率ということを知って欲しい。

牛乳は1リットル200円。水も1リットル200円。牛乳が水と同じような価格では、農家は廃業せざるをえないという現実があることを知って欲しい。もう少し、農業の現場が危機的状況であるということを知ってほしい。

その2点。直接支払制度と親元就農する農家に救いの手を差し伸べて欲しい。

大産地で何か災害があったときには、供給不足になり、危機的状況になる。神奈川の農業である家族農業、これと大規模農業との両輪でお互いをカバーし合いながらやっていかないと難しくなっていく。

先ほど県の答えの中で、直売に力を入れてるとの話があり、私も参加して助かる部分はある。これも生産者が、年々減ってきているという状況もあるということを知って欲しい。

◆ 田村ゆうすけ委員

- 私の選挙区の横浜市瀬谷区も農地がある。農家の方とも私もお付き合いをさせていただいて、横浜市でも、都市農業という形では、おっしゃられた通りなかなか農業だけでは食べていけない。土地持ちの方が多いため不動産で生計を立てている方が多いと感じている。

行政の観点からいくと、担い手不足に対して、新しい人を何とかしようという考え方になる。親元就農という部分については、僕も盲点だったと思ってる。

せっかくこういったご意見を今いただいたので、逆に行政のどの部分に支援が欲しいのかという、お知恵をいただきたい。それから親元就農は、親が子供を育てていく段階で、農家は儲からないと教え込んでしまってるから、担い手不足になってしまっているというご意見だと思う。根本的に作物の単価を上げるといった話になると思うが、それは根本解決にはならないと思う。今、行政に求める課題が何かあれば、ご教授いただきたい。

● 参加者B

- 直接支払制度を取り入れてもらうことと、農業をもう少し消費者の方にPRして、理解してもらって、国内の野菜が多少高くても買ってもらおうという理解が必要だと思う。野菜が高くなると安いものしか買わなくなってくる。そうすると直売所の方でも、高いと売れなくなる。そのため農業のPRと直接支払制度が、私が求める施策。

◆ 田村ゆうすけ委員

- 貴重なご意見として僕も先ほど申し上げた通り瀬谷区で農家の方がたくさんいらっしゃると思いますので、大きな課題として、また勉強させていただきたい。

◆ 米村和彦委員

- 私の地元でも、農家の方でその息子さんが継いでる方は本当に少ない。定年を迎えて地元に戻ってきて、農業をする方もいるが、土日しか農業を手伝ったことがないという場合、先代がやってきた農地を維持できない。となると、手放してしまう、もしくは、周りでまだ農業をやられてる方に託してしまうという状況である。

親元就農にどういった支援が必要なのかというのは、今いただいた意見もあるが、自分自身もまた地域を回って、農家の方からのご意見をしっかり聞いていきたいと思っている。直接支払制度については、私もしっかり勉強させていただいて、これ

からの議論に活かしていきたいと思う。

◆ **松川正二郎委員**

- 農業に関わる法制の関係で、種子法が廃止をされ、その後、種苗法改正という中で我が国の農業が大変厳しくなっているということを知った。その中で、地産地消という言葉が出てきましたが、生産と消費というだけではなくて、もう少し大きな枠組みでのローカルフードという言葉で表現をする方もいる。そういった視点で本県の農業も含めて、国の農業を考えていければならないと考えている。

● **参加者C**

- 水産業のことでお話ししたいと思う。カキの養殖は、海の深いところで、カキをつるして養殖をしていたが、今は、普通の海岸の浅瀬でカゴによって、カキを生産している。

神奈川県でも、そういった生産方法、養殖を考えてみて水産業のことも考えてほしいと思っている。ご意見を伺う。

◆ **あらい絹世委員**

- 実は、神奈川県でも、カキの養殖を真鶴町でしており、真鶴の鶴に宝と書いて、鶴宝というカキがある。神奈川県でも宣伝不足だが、今、養殖を進めている。

ただ、カキは、貝毒が心配されるので、神奈川県水産技術センターと一緒に協力しながら、カキの貝毒の調査を行い、養殖に努めている。まだ市場に出回っておらず私たちも食べたことがない幻のカキだが、このカキの養殖を進めていって、県内の方にも召し上がっていただけるような、取組をしっかりと進めていきたいと思う。

◆ **小林武史委員**

- 神奈川県水産技術センターの視察で聞いた話になるが、逗子市においては実際に、オーストラリア発祥の三角柱型のカゴを設置して実際に進めているとのことであった。今後も神奈川県水産技術センターと連携をとりながら、情報収集を行い、県内のカキの養殖について、私自身も勉強していきたいと思う。

◆ **田村ゆうすけ委員**

- 親元就農の件で調べたら1点出てきたので、お伝えしておく。

山梨県で親元就農の件で、助成金がある。年間100万円支給で、交付期間は1年間、前年度所得が600万円以下の世帯に助成している。もちろん、100万円出せば子供がやってくれるという話ではないと思うが、こんな取組もあるということをしつかりと議論していかなければならないと思う。

● **参加者A**

- 親と同じ農業をやりたがらない場合もある。そういう場合には新規の農業のため資材投資、機械化投資などでお金を使う。今までの農業では儲からないが子供たちが新たな施設園芸や変わった農業をやる場合、メリットがあると思う。

◆ 芥川薫委員長

- 皆様から貴重なご意見ありがとうございました。

先ほどの環境問題等、太陽光パネルの話などについて、本日の委員は各々の常任委員会にも所属しておりますので、そこでも議論していく。

先日、国会議員の方と農業について意見交換をした。実際私も米もつくっている。35年前の農業粗利率は6割だったが、現在は2割ということで、農業だけで生活していくのは非常に難しいと思う。特に若い方たちの場合、親元で、この農業をやるということは現実的に難しいということも地元の方から聞いているし、県内からも聞こえている。

また、食の安全、日本の食というブランドというのは、世界に引けを取らないと思っている。これからの販路開拓について、我々議員としても、また当局、行政とともに皆さまからご意見をいただいたことをしっかりと実現に向けて取り組んでいく。

5 閉会あいさつ

亀井 たかつぐ 神奈川県議会副議長



IV まとめ

1 芥川委員長所感

議会報告会は、広聴広報機能の充実の一環として、神奈川県議会基本条例第13条に「報告会を開催する等の方法により、議会活動の積極的な広報に努めるものとする。」と定められていることを受けて、平成24年度から計4回、試行として開催され、平成28年度から本格実施となったものである。令和5年度で、合計10回の実施となる。

今回の議会報告会は、「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」をテーマとし、産業振興・環境対策特別委員会を開催した後に、引き続き参加者との意見交換会を開催した。

さらに、開かれた議会を目指す試みとして、昨年引き続き議会報告会の模様をYouTubeによる動画配信を実施した。

「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」というテーマについて高い関心をお持ちの地元座間市の方を中心に68名のご参加をいただいた。

今回は、特別委員会を開催し、委員と県執行部との質疑を行った後、日産自動車株式会社からテーマに関連する講演があり、その後、委員と参加者との間で意見交換が行われたため、参加者の発言は特別委員会と講演の内容を踏まえたものとなっており、参加者の関心は高く、テーマに沿った充実した意見交換を行うことができた。

アンケート結果を集約すると、議会報告会の開催曜日、開催時間帯、時間配分、開催場所、テーマ設定については、概ね好評であり、「今後、議会報告会が開催された場合、参加しますか」との問いに対し「内容によっては参加しても良い」との意見が大勢を占めた。

議会報告会の開催にあたっては、テーマ設定が大切である一方、議会報告会の趣旨を踏まえると、県内の幅広い地域で行われることが望ましいという側面もある。

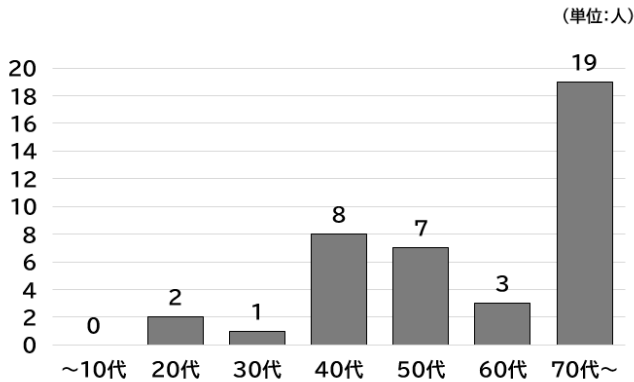
今後とも、更なる開かれた県議会を目指して、テーマ設定と開催地域の双方を考慮しながら、充実した議会報告会の実施に努めていくことが重要であると考えている。

2 アンケート結果

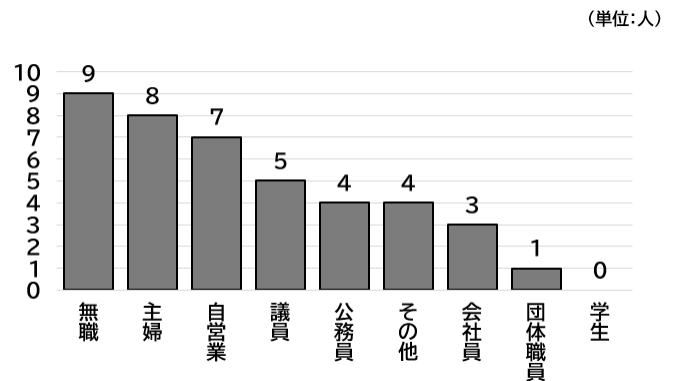
次ページ以降参照

アンケート結果 (回答数:41名)

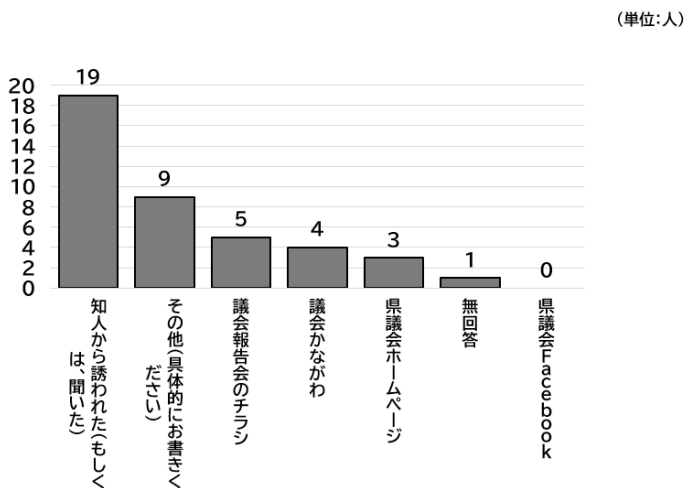
【問1】年代



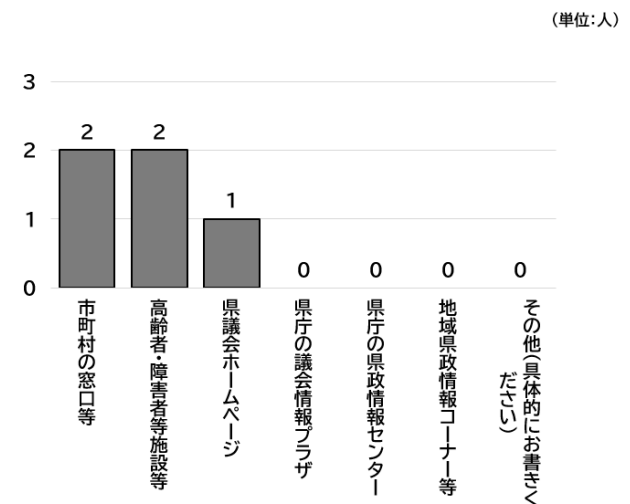
【問2】職業



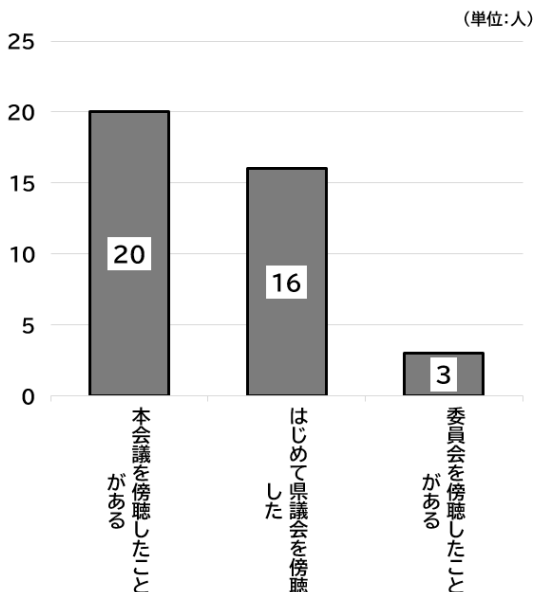
【問3】議会報告会開催を知ったきっかけ



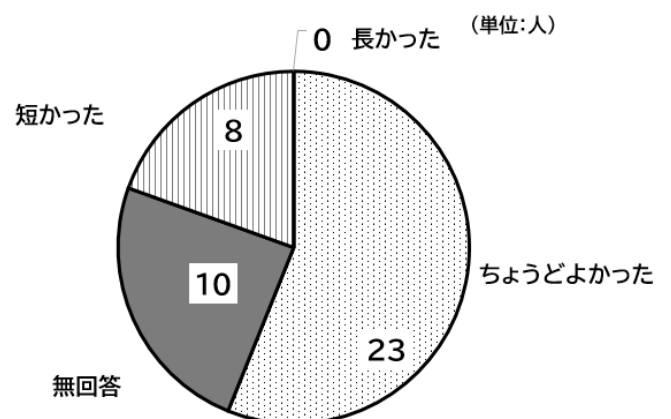
【問4】チラシの入手先 (※問3で「チラシ」と回答した4人の内訳)



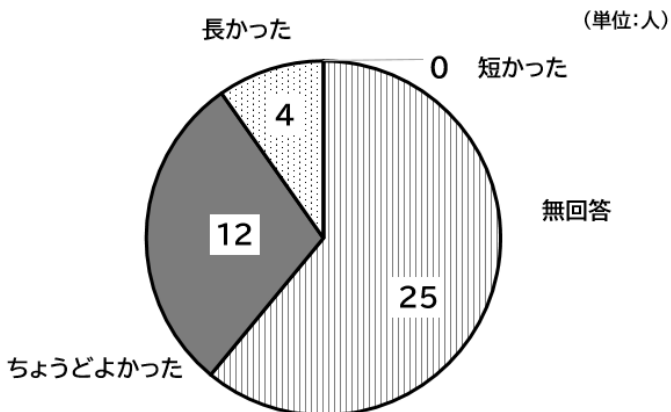
【問5】議会の傍聴経験(複数回答)



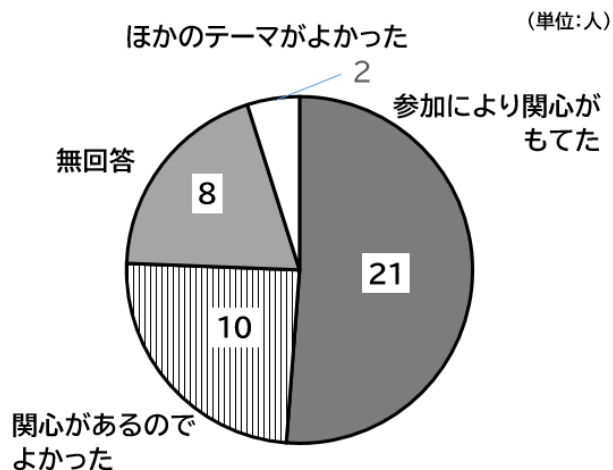
【問6-①】議会報告会の時間配分 (前半:産業振興・環境対策特別委員会)



【問6-②】 議会報告会の時間配分
(後半:意見交換会)



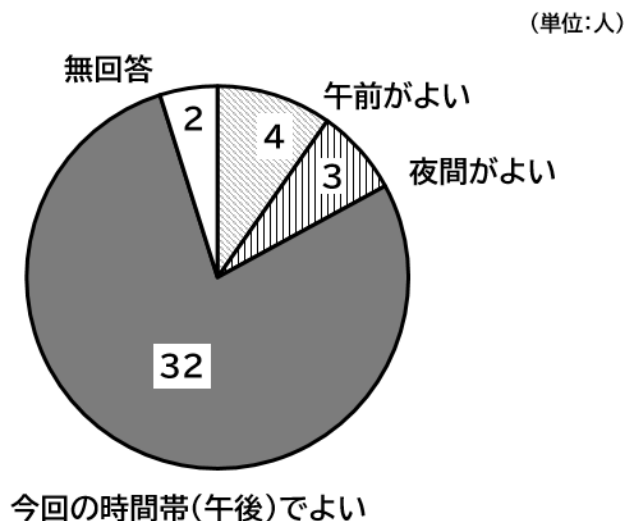
【問7】 今回のテーマについて



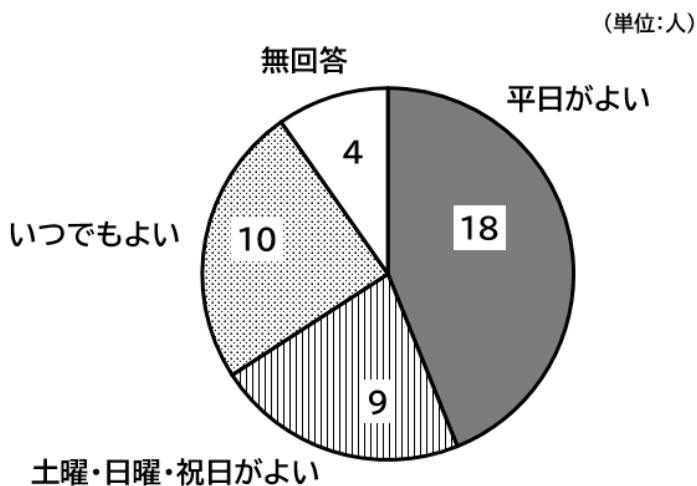
【問8】 今回のテーマ以外で関心のあるテーマについて
(自由記述)

- ・少し難しかった。
- ・座間の状況。高齢者の問題、足の確保
- ・各テーマごとに意見交換会があるといいと思いました。リモート会議を希望します。気候変動・地球温暖化
- ・観光促進、外国人労働者雇用について
- ・教育、健康福祉、会議全般について
- ・多様な担い手の育成、経営支援
- ・空家の問題等、防災
- ・農業活性化の取組

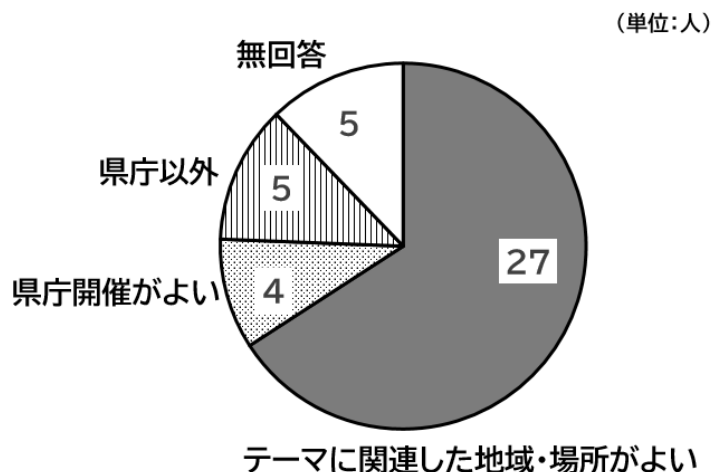
【問9】 議会報告会の開催時間について



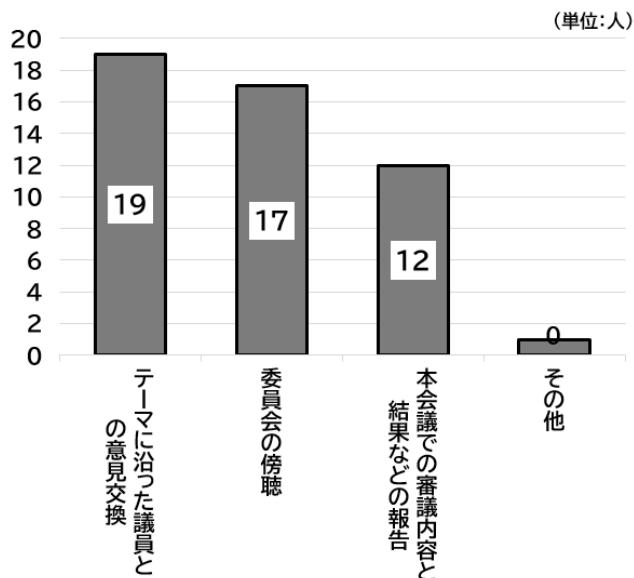
【問10】 議会報告会の開催曜日について



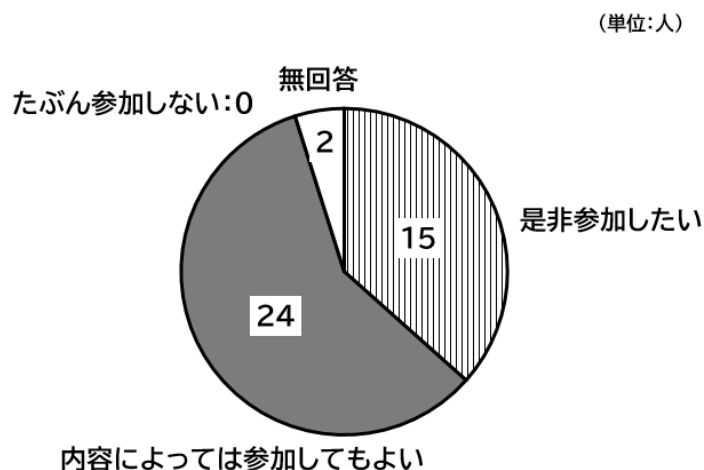
【問11】 議会報告会の開催場所について



【問 12】 今後の議会報告会の内容(複数回答)



【問 13】 今後の議会報告会への参加



【問 14】 自由意見

- ・ 1つのテーマを決めて重点的に審議してほしい。時間が長いので。あまった資料はどうするのですか。プロジェクターなどの利用は？委員の所属、名前を書いてほしい。
- ・ ①議会のネット中継時の開始時には資料をウェブに載せてください。②資料はPDFでウェブに載せていただければ紙の配布は不要です。③平日仕事をしている方も参加できるように夜間、土日に行ってください。その際、委員会ではなく報告会と意見交換会だけで結構です。④意見交換には県職員の方も参加していただきたいです。⑤開催について、ウェブで参加型にできれば。リモートに不安のある方のためには各市役所でリモート用のview会をすればよいと思います。
- ・ 今後の参加について、開催場所によります。
- ・ 耳が遠いので良く聞き取れない部分があった。文字で表示してもらえると有り難いのですが。(大きな画面で)
- ・ 「座席表」には委員氏名のほかに選出区と党名(会派)を記してほしい。大学生、高校生(若い人)が傍聴できるように工夫してほしい。(通常の委員会、授業に入れる等)、県の旗あるいは県議会のロゴが受付あるいは会場内にあってもよいのではないかと。県庁内で開催より職員の方はゆっくり話していると感じよかった。冒頭に付託からの採決までの流れの説明があるとより良いと思った。
- ・ メモとるのに机がほしい。時間配分を知らせて欲しかった。どの議員がどういう質疑をするのか項目を知りたい。
- ・ 議会報告会の開催時間は午前午後どちらでもよい。本日はありがとうございました。
- ・ 地元で議員を見ることができてよかった。手話やUDトークなど聴覚障がいの方への配慮ができていて良かった。

- ・はじめて参加しましたが、非常に充実感があり良かった。
- ・職場環境が変わる中大変参考になりましたが、バランスが必要と思いました。
- ・生で聞いてほんとに感激です。皆さん真面目すぎに感じた。参加出来てすごく良かったです。ありがとうございました。
- ・議会を中からでなく外からみることは良い機会でした。後ろの座席の方が良かった（イスが固い）
- ・内容の難しい部分もありましたが、いずれも未来に繋がる大切な取組等が聞けたと思います。今後もより良い議会を進めていただきたいです。ありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが興味深い内容でしたので、勉強になりました。

令和5年度 神奈川県議会議会報告会実施計画

1 開催日時

令和5年11月16日（木） 14時から17時まで

2 開催場所

座間市立市民文化会館ハーモニーホール座間

（座間市緑ヶ丘1-1-2）

3 内容

ハーモニーホール座間において、産業振興・環境対策特別委員会を開催し、委員会閉会后、特別委員会委員と参加者との間で、農林畜水産業の活性化の取組及び成長産業の創出・育成の取組をテーマとした意見交換を行う。

4 参加申込み

参加申込みは、事前申込み制とする。



令和5年10月4日

参考資料

(県政・厚木・大和記者クラブ同時送付)

令和5年度議会報告会を座間市立市民文化会館で開催 します

議会報告会は、県民の皆さまに開かれた議会づくりの一環として県庁舎以外の場所で開催しているものです。今回は、「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」をテーマに、座間市立市民文化会館で、産業振興・環境対策特別委員会を開催し、引き続き、委員会を傍聴された皆さまと委員との意見交換を行います。

皆さまのご参加をお待ちしております。

1 開催日時

令和5年11月16日(木曜日)

13時 受付開始

14時から16時 産業振興・環境対策特別委員会

16時から17時 意見交換会

2 開催場所

座間市立市民文化会館(座間市緑ヶ丘1-1-2)

3 テーマ

「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」

4 定員

100人(先着順)

5 取材の可否

当日の取材は自由です。直接会場にお越しください。

問合せ先

神奈川県議会議会局政策調査課

副課長 山崎 電話 045-210-7561

調査・政策法制グループ 福島 電話 045-210-7567

令和5年10月16日
参考資料
(県政・厚木・大和記者クラブ同時送付)

令和5年度議会報告会の参加申込みを開始します

令和5年10月4日(水曜日)に参考資料送付した「令和5年度議会報告会」の参加申込みを開始します。また、別添のとおりチラシを作成しました。皆さまのご参加をお待ちしております。

1 開催日時と当日の流れ

令和5年11月16日(木曜日)

13時	開場(受付開始)
14時から16時	産業振興・環境対策特別委員会の傍聴
16時から17時	委員との意見交換会

2 開催場所

座間市立市民文化会館(座間市緑ヶ丘1-1-2)

3 テーマ

「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」

4 定員

100人(先着順)

5 申込について

(1) 県議会ホームページの申込フォーム(URL)

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=61125

(2) 郵送又はFAX

別添チラシ記載の申込書にご記入の上、次の郵送先又はFAX番号に送付ください。

郵送先: 〒231-8588 県議会 議会報告会担当 宛て

(注記)郵便番号のみで届きます(住所の記載は不要です)。

FAX番号: (045)210-8907

6 取材について

当日の取材は自由です。直接会場にお越しください。

問合せ先

神奈川県議会議会局政策調査課

副課長 山崎 電話 045-210-7561

調査・政策法制グループ 福島 電話 045-210-7567



議会報告会

定員
100人
事前申込制
先着順

テーマ ▶ 農林畜水産業の活性化の取組及び
成長産業の創出・育成の取組

令和5年11月16日(木)

- 13時 : 開場
- 14時～16時 : 産業振興・環境対策特別委員会の傍聴
- 16時～17時 : 委員との意見交換会

普段は県庁で開催する特別委員会を傍聴していただき、その後、テーマに沿って委員との意見交換を行います。

場 所

座間市立市民文化会館(ハーモニーホール座間)
(座間市緑ヶ丘1-1-2)

※会場までのアクセスは裏面をご確認ください。



手話通訳付きです。

ともに生きる社会かながわ憲章

～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

共に生きる社会かながわ憲章

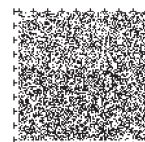
かながわ憲章

ともに生きる社会

神奈川県議会

活字文書読上げ
装置を使うと、
情報を音声で聞く
ことができます。

音声コード



議会報告会の問合せ先



神奈川県議会議会局政策調査課 調査・政策法制グループ (045) 210-7567 又は、
県議会HPをご確認ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>



神奈川県議会 議会報告会

検索

令和5年 11 月 13 日
参考資料
(県政・厚木・大和記者クラブ同時送付)

令和5年度議会報告会のスケジュールが決まりましたので、ご案内します

令和5年 10 月 16 日(月曜日)に参考資料送付した「令和5年度議会報告会」のスケジュールが決まりましたので、ご案内します。

1 開催日時

令和5年11月16日(木曜日)14時から17時(13時 受付開始)

2 開催場所

座間市立市民文化会館(座間市緑ヶ丘1-1-2)

3 テーマ

「農林畜水産業の活性化の取組」及び「成長産業の創出・育成の取組」

4 スケジュール

13時00分 受付開始

14時から16時 産業振興・環境対策特別委員会

16時から17時 産業振興・環境対策特別委員会委員との意見交換会

(1) 日産自動車株式会社渉外部による講演

(テーマ:カーボンニュートラル実現に向けた日産の取組及び
神奈川県内の産業振興への期待)

(2) 参加者との意見交換

5 動画配信の実施

当日、産業振興・環境対策特別委員会及び意見交換会をYouTubeにより生配信します。

○神奈川県議会公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCGNHIq4vZyrRrrPs4Y46gzg>

後日、録画動画の配信を予定しています。

6 取材について

当日の取材は自由です。直接会場にお越しください。

問合せ先

神奈川県議会議会局政策調査課

副課長 山崎 電話 045-210-7561

調査・政策法制グループ 福島 電話 045-210-7567